

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

月島ホールディングス株式会社（証券コード:6332）

【変更】

長期発行体格付	A-	→	A
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付	A-	→	A
発行登録債予備格付	A-	→	A

■格付事由

- 水環境分野および産業分野向けプラントなどを手掛ける持株会社。水環境事業では汚泥処理を強みとし、主要顧客である官公庁と安定した取引基盤を構築している。さらに、23年10月にJFEエンジニアリングの国内水エンジニアリング事業を事業統合し、安定事業の基盤が強化されている。産業事業では、化学・鉄鋼・食品および環境・エネルギー関連向けのプラントなどを手掛ける。また、工場跡地を活用した物流施設が安定収益源となっている。傘下事業会社に対する強いガバナンスを有しており、グループの一体性が強いことから、格付にはグループ全体の信用力を反映している。
- 水環境事業を中心に収益力の伸長および安定性の向上が見込まれる。事業統合により、水環境事業の競争力は強化されており、安定収益源であるライフサイクルビジネスも拡大している。その結果、需要変動の影響を受けやすい産業事業のボラティリティが軽減される傾向にあり、今後、全社の収益やキャッシュフローは安定して推移すると考えられる。また、財務構成は健全であり、引き続き健全な状態を維持できよう。以上より、格付を1ノッチ引き上げ、見通しを安定的とした。
- 24/3期の営業利益は68億円（前期比35.2%増）であった。持株会社体制への移行に伴う一時費用や事業統合に伴う一過性費用があったものの、統合効果が業績を押し上げた。25/3期は70億円（同3.5%増）と引き続き増益の計画である。産業事業では、中核の月島機械が事業環境の悪化により業績の下押し圧力を受けているが、重点領域へのシフトやアフターセールスの強化などに取り組む方針で一段の下振れリスクは限定的と考えられる。水環境事業のライフサイクルビジネスは着実に伸長しており、引き続き業績は堅調に推移するとJCRでは考えている。
- 24/3期末の自己資本比率は42.0%（前期末55.4%）。事業統合により、売上が第4四半期に集中する構造となり、期末時点の売掛金が増加している。ただ、顧客は自治体が大半であり、売上債権の回収懸念は小さい。事実、25/3期第1四半期末の自己資本比率は48.3%まで回復している。中期経営計画（24/3期～27/3期）では、戦略投資などを進めていく方針だが、一定の財務規律を維持する方針や、キャッシュフロー創出力を踏まえれば、今後、財務構成が大きく悪化する懸念は小さいと考えられる。

（担当）里川 武・喜多村 早織

■格付対象

発行体：月島ホールディングス株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2018年8月17日	2028年8月17日	0.610%	A

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	100億円	2024年7月28日から2年間	A

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年10月17日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「機械」(2011年12月7日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 月島ホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル